

## 年度末官民合同パトロールを実施

平成31年2月19日、宮古労働基準監督署では、建設業労働災害防止協会沖縄県支部宮古分会とともに「平成30年度年度末官民合同パトロール」を実施しました。

建設会館玄関にて行われた出発式では、宮古労働基準監督署長、建災防宮古分会長の挨拶が行われ、参加者全員でスローガンを指差呼称しました。



参加者で指差呼称

その後、平良港に向かい、船に乗りクルーズ船専用バース建設工事を行っている堤防に渡り、現場を巡視しました。

平成30年の宮古地区の建設業における休業4日以上の労働災害は、**速報値で1.8件**と、平成29年の6件に比べて**3倍に増加しました**。

宮古地区では建設需要の高まりにより建設現場が増加しております。それに伴い、現場では人員、資材不足が続くなか、年度末に向けて急ピッチで作業が進められ、労働災害が発生するリスクが高まっているものと思われます。

宮古労働基準監督署では、今後も建災防宮古分会や発注機関と協力し、労働災害の防止に向けた取り組みを行っていきます。

